

第三百二十四号

奥釣島外二島實地取調ノ事ニ付上申

本年九月廿三及二十五号ヲ以テ奉經トテ福知
間ノ船立セルモノ島ナシク若者島ト稱島奥釣
島ノ氣况問取書ヲ添ハ先以テ實地視察可為
致及上申置ルニ付去十月廿二日奉經産洗船
出雲丸ノ先島航海歸路ニ接テ取調可致矣
テ念ノ奉經立等ノ属石澤兵共外西三島
達ニ付交別紙言ノ通復命書共ニ出雲丸
報告書差出ル候テ既考スルニ最初信書ト
接近スルノ疑ヲ抱キ何レニ属スルヤ否ト判テハ
甚々不決然ノ様ヲ添ハ上申申得共今日後
命及報告書ニ接レハ勿論美重ノ島奥ニハ

奉經ノ得共地形ヲ備スル所ハ必ク我々重山
群島ノ北西ニシテ奥那爾島ヲ遠ニ索ルニ位スルハ
奉經ノ存轄トテ決定可致然レニ既考ル果
テ然ハ大東島ノ例ニ倣ハ奉經存轄ノ標札與
釣島久場島ノ船使都合ヲ以テ建設政可致
哉若シ官古島ノ南方ニ有リキニ島及八重
山島属波照間島ノ南ニ有リ南波照間島ノ
南ニ有リ産洗船出雲丸ノ先島航海歸路
以テ探覽可致然レニ既考ル果
テ然ハ上申申得共今日後
命及報告書ニ接レハ勿論美重ノ島奥ニハ

明治三十八年十月五日

中尾縣令西村捨三

内務省伯耆山縣有願殿

書面同ノ趣目下建設ヲ要セサル候ト可心得
事

明治十八年十二月五日

外務大臣 青井上 督
中務大臣 伯耆 山縣有朋

外務省
印